

新刊のご案内

裏切りの身体

—「摂食障害」という出口—

富澤 治 著

終わりのないダイエット

「拒食」「過食」… 連鎖からの脱出

第1回(1996)、第2回(1999)、第3回(2002)世界サイコセラピー評議会国際会議シンポジスト、第14回国際表現病理・芸術療法学会(1994)、第12回世界精神医学会(2002)などの国際学会で研究発表をしてきた、2000症例を超える治療経験を持つ専門家が初めて一般向けに著す「摂食障害」の解説書

富澤
治

裏切りの身体
—「摂食障害」という出口—

目次

はじめに

「痩せている」ことの価値／普通のダイエットと摂食障害の差異／大学病院での治療経験／生きるために「食べない」／生きることの「意味」／気がつけば生まれている人間／哲学とは死の演習

第一章 摂食障害とは何か—「終わりのあるダイエット」と「終わりなきダイエット」—

文化の圧力／生命活動としての「摂食」／「痩せろ」しかも「食べろ」／「普通のダイエット」というもの／自分自身の存在価値—アイデンティティ—／「拒食」と「過食」はコインの裏表／「拒食」と「過食」の差異

第二章 摂食障害の診断とその病態の意味するもの

神経性無食欲症 Anorexia nervosa—(AN—拒食症)—とは「意識的に」食べない、ということである／「拒食症」の診断基準／そもそも、人は何故ものを食べるのか？／「食べるということ」の多重性／食欲求から離れた「食べることの意味」が、拒食や過食を生み出す／「他者」の不在／「過食症」の診断基準／「過食」はあってはならないこと

第三章 神経性無食欲症(拒食症)の治療

本当に「拒食症」？／困っていることを明らかにする／「痩せる」ということは栄養学的には何を意味しているか／拒食症における身体症状とその程度／ありのままを提示する／症状を挟んで対話する／症状を巡り、また身体治療を通じて治療関係性を作る／神経性無食欲症(拒食症)の入院治療／身体状態を改善する方法／摂取エネルギーの設定／入院におけるインテンシブな心理療法／精神力動的な心理療法と行動療法の「統合」／神経性無食欲症の統合的心理療法／具体的にどのように行うか／具体的な治療のシミュレーション／中心静脈栄養を用いた治療／中心静脈栄養終了後の治療／精神力動的な心理療法で現れてくる中核葛藤／拒食の状態の人の治療の核心／本質的な精神力動的な心理療法の「行き先」と終結／ウィニコットの提唱した「生きる準備」／程良い母親／「あいだ」の空間—潜在空間の移行対象—／ひとりであること／「本当の自己」と「偽りの自己」／現実の母親の行動が問題なのではない／心理的な治療の終わり

第四章 神経性大食症(過食症)の治療

「過食」の意味するもの／やりたくないことが「癖」になる／過食の価値とは「負ける」ことにある／バジの持つ意味／過食やバジは治療への動機付けを高める／神経性大食症治療の実際／初期の治療導入は「コンサルテーション」である／過食症のふたつの治療—薬物治療と心理療法—／過食に対する薬物治療／SSRI(抗うつ薬)の特徴／抗うつ薬の飲み方／薬物治療が効果的であった場合／過食に対する心理療法—認知行動療法的アプローチと精神力動的な心理療法—／認知行動療法的なアプローチ／入院における認知行動療法的操作／精神力動的な心理療法／過食症の精神力動的な心理療法の中核

おわりに

著者略歴

2000年東京医科大学講師。

2004年とみさわクリニック開設。

日本芸術療法学会理事。日本サイコセラピー学会理事。

ISBN978-4-904110-04-1 新書判・並製/180頁

定価：本体740円＋税

発行日：2011年8月22日

〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13 広和レジデンス2F (有) エム・シー・ミューズ

TEL:03-3812-0383 FAX:03-3812-0376 info@mcmuse.co.jp

M.C.MUSE Inc.